

# 第26(2)回 樹木医対象リモート配信講座プログラム

開催日時：令和6年12月14日(土) 13:00~16:30

台風10号の影響で8月に開催予定であった講座が中止となり、久しぶりのリモート配信講座の開催となります。8月の講座の中止により、開催回数の表記調整の必要が生じたため、この度の講座は第26回(2)として開催させていただきます。

今回は、埼玉、神奈川、熊本から、3名の現場経験豊富な樹木医に講師として登壇頂きます。

主催：(一社)日本樹木医会大阪府支部、NPOおおさか緑と樹木の診断協会

開催日時：令和6年12月14日(土) 13:00~16:30

開催方法：Zoomでのリモート参加(定員100名)

樹木医CPD：3単位申請中

対象：日本樹木医会所属樹木医、NPOおおさか緑と樹木の診断協会会員

参加費：無料

申し込み方法：次よりお申込みください

<https://kokc.jp/e/eb5be81189b474e70ffe0d71b3ee99b7/>

\*なお、上記から申し込んだが都合が悪くなり参加できなくなった場合は、申し込みサイト「コクチーズ」から、「キャンセル」の手続きをお願いします。定員オーバーとなり参加できない方が発生しています。申し込みをキャンセル頂ければ、参加枠が増えますので、お手数おかけしますが、参加できなくなった場合はキャンセル手続きをよろしくお願い致します。

## ＜プログラム＞

(\*Zoomへの入室は12:50過ぎからとなります。)

13:05-14:05 【講座No.63】 60分

「国指定天然記念物 藤崎台のクスノキ群について」

熊本城の南西に位置する「藤崎台のクスノキ群」は7本のクスノキの群落として1924年に国の天然記念物に指定されました。西南戦争(1877年)の激戦地でもあり、150年ほど経った現在でも、クスノキの幹内部には薩摩軍と官軍との戦いの痕跡を多く残しています。近年、大枝の落枝を繰り返すなど、樹勢の衰退が見受けられ、落枝の原因究明や土壌調査が熊本県の樹木医で行われました。歴史背景を交えながら調査で判明したことを松本樹木医より紹介頂きます。

(株)松亀園 代表取締役 松本雄介(熊本県・樹木医10期生)

14:15-15:15 【講座No.64】 60分

「根系切断面の処理と発根量」

樹木の処置や道路工事などで根を切断しなくてはならないケースがあります。根の切断にあたっては、その可否について悩まされる場合が多くあります。切断後にどの程度の発根がなされるのか。切断面の直径と発根量の関係について、そして切断面の適切な処置方法について、これまで根の処置に関して様々な研究を積み重ねられてきました石井樹木医に、関東と関西の試験結果などをもとに根系の切断とその処置方法について報告頂きます。

アゴラ造園(株)技術研究所 農学博士 石井匡志(埼玉県・樹木医18期生)

15:25-16:25 【講座No.65】 60分

「造園・緑化樹木の土壌診断について」

ー長谷川式土壌調査器具による植栽基盤調査とそのまとめ方ー

緑化樹木の土壌(植栽基盤)は、森林土壌や農地の土壌と異なります。造園界においては長谷川式土壌調査器具の開発がなされ、その調査診断方法が普及してきました。樹木医研修では2017年(樹木医27期)から、都市土壌の診断にそれら調査器具が紹介されていますが、あらためてその重要性和実例を通してのまとめ方を、診断機器などの開発に携わってこられた牧樹木医から紹介頂きます。

ダイトウテクノグリーン(株)顧問、大島造園土木(株)緑化技術研究所顧問

牧 隆(神奈川県・樹木医9期生)